

澄んだ瞳

第71号
令和3年8月号
発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

8月は、「人権文化をすすめる
県民運動」推進強調月間です！

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重
することを、自然に感じたり、考えたり、
行動することが「当たり前」になった生活
をいいます。

「ありがとう」

「ぼく、いまじとができました。小さい女
の子です。」ととてもかわいいです。
前の土曜日、ぼくは赤ちゃんをおぶろにい
れる手つだいをしました。

「おかあさんが「ありがとう。」
と言ってくれました。」

「おかあさんが、うれしそう
でした。ぼくも、うれしくなりました。」

「赤ちゃんが、かわいかったです。」

(小学2年生)



「わくわく学校たんけん」

金曜日、中休みから4じかん
目に学校たんけんをしました。
2年生がぼく一人で、1年生が
三人いました。

「シールどれがいい？」と、
聞くのもたいへんでした。

「かいだんで1年生がこけたので、「だいじ
ょうぶ？」と、聞きました。1年生は、なき
そうなかおをしていたので、ぼくは「ぼけん
しつにあとでいくから、そのときにもてもら
おうか。」と、言いました。
1年生を三人もみるのは、たいへんでし
た。だけど、ちゃんと「わかった。」と言っ
てくれました。」

「1年生が「学校たんけんたのしい。」と言
ってくれたのがうれしかったです。」

(小学2年生)



「みんなと力を合わせた運動会」

みんなと力をあわせたことで赤組がかつ
ことができました。その理由は、みんなと心
を一つにして、あきらめず何こでもチャレン
ジすることができたからだと思います。

とくにわたしががんば
ったのは、「大玉ソーラ
ン」です。ソーランぶし
は、休み時間に4年生に
教えてもらい、体を大き
く動かすことをいしきし
ました。

大玉ころがしは、ペアの友だちとカーブを
上手にまがれるように、前におす人と外から
中へおす人にわかれて、すもうみたいに力
づよくおしました。

本番までに、たくさん練習し、みんなでき
めた学級目ひよりの「心を一つに」に向か



って、あたたかい言葉で教えあい、あきらめずにチャレンジしてきたことがうれしかったので、来年の運動会もがんばりたいです。

(小学3年生)

「宮山登山」

今日の宮山登山は、よかったと思います。理由は、1年生がこけそうになったとき、声をかけることができたからです。登っているときに、1年生とお話もできて、いい宮山登山になったと思います。

5年生や4年生のお手本になっていたらいいです。自分の目標は1〜5年生がこまっていたら助けることと、たてわり班の子を知ることでした。とくに1年生を助けることができたと思います。

これからたくさん、たてわり班活動があると思うから、たてわり班のみんなと仲良くならたいです。



(小学6年生)

「みんなの意見を・・・」

クラスの目標を班で決めるときに少しもめてしまって、話がまとまりませんでした。だから、運動会の種目を決める話し合いでは、前みたいにもめないようにしようと思いました。

どうしたらいいかと考えて、みんなの意見をとり入れることにしました。違う意見でも、その意見のプラスのところを取り入れることができ、みんな納得してくれました。とてもよかったです。

このことから、自分の意見だけでなく、みんなの意見のいいところを取り入れることで、みんなが納得できるんだと気がつきました。この力をこれからの話し合いで活かしたいです。



(小学6年生)

「最学年とついで」

6年生になってほくが意識し始めたことは、他学年との交流です。ぼくは、ほとんどの中休みに「だれかドッジボールしよう。」と、運動場にいる全校のみんなに声をかけています。

すると、みんながすぐに集まってくれます。チームのバランスやコートの広さなど、人数が多い分、難しいこともありますが、とても楽しいです。ボールを投げていない人にボールを渡したり、最学年が低学年に手加減をしたりするなど、優しいプレイも見ることができ、とてもうれしいです。

遊びが終わると「楽しかった!」という声も聞こえて、とても達成感を感じました。

今まで意識しなかった他学年との交流ですが、やってみてうれしかったり、達成感を感じたりできるので、これからももっと交流を深めていきたいです。



(小学6年生)

「だれかのために」

私は6年生の1月に、約2年間ほどのば
していた髪の毛を切りました。ただ切っただ
けではなく、ヘアドネーションで髪を寄付し
ました。

ヘアドネーションとは、小児がんや先天性
の脱毛症、不りよの事故で頭髪を失った子
どものために寄付された髪の毛でウィッグ
を作り、無償で提供する活動です。

私がヘアドネーションをしようと思った
のは、髪の毛の長い私に、お母さんが「今度、
髪の毛を切る時にヘアドネーションをして
みたら」と言ったことがきっかけです。

お母さんに聞いたり、自分で調べたりし
て、どういふものが分かったら、これなら私
でもできるし、少しでもだれかの役に立つの
ならやってみようと思ひ、寄付することを決
めました。

美容室へ行き、三十一センチ切った後の
ヘアスタイルを美容師さんと相談して決め
ました。

ウィッグを一つ作るには、約三十人から
五十人分のヘアドネーションが必要らしい
です。ウィッグの長さをよつては、それ以上

必要なこともあるそうです。

私の寄付した髪は、ウィ
ッグを一つ作るために必要
なほんの一部にしかならな
いけれど、だれかのために少

しても役に立っていたらいいなと思ひます。

私は、今回初めて髪を寄付して、少しだけ
ど困っている人の役に立つことができて良
かったです。

ヘアドネーションを知らない人にも、こう
いう活動を知ってもらえたらいいなと思ひ
ます。

私ができることは小さなことかもしれない
いけれど、自分にできることがあれば協力
するのは当然だと思ひるので、小さなことでも
行動します。笑顔の人がたくさん増えてほ
しいです。

※一部抜粋

「誰もが住みやすい世界」

(中学1年生)

私は道徳の授業で「迷惑とは何ぞ」とい
う話を読んだ。その話の中に出てくる映画
の主人公が車いすの少女で、何をやるにも



誰かの助けを必要としなければならなかつ
た。その映画の最後は、車いすの少女がま
わりの人に「誰か私をあの上まで連れてい
って。」と助けを求めるシーンだった。少女
が一生懸命に叫び、ついに助けてくれる人
が現れ、少女は階段の上までのぼることが
できた。

今では車いすの人でも利用しやすい多
目的トイレがどこにでもあり、階段にスロー
プがついていたり、エレベーターのボタンが下
のほうにもついていたり、だれもが住み
やすい世の中になってきている。だが、それ
でもまだ不便なところはたくさんある。

車いすの人がせまい
道路で通りづらそうに
している姿を見たことがあ
る。幸いその人はすぐに
通ることができていたが、
もしその人が通ることが
できずに困っていたら、



私はすぐに助けに動くことができたろう
か。自分に関係ない、誰かが助けてくれるだ
ろうと、他人任せにしないだろうか。私はも
っと自信をもって「私なら絶対助けます」と
言えるようになりたいと思ひます。

幸せな人は他の人も幸せにしてしまうという人がいるが、本当にその通りだ。まずは自分からまわりの人に幸せを分けていくことで、誰もが住みやすい世界になるだろう。



※一部抜粋

(中学2年生)

「人権教育講演会を聞いて」

友だちが「アカウントを知らない人にログインされた。」と言っていたことを聞いて、こんな身近にいるなら、自分にも普通に起こるようなものなんだと思いました。

ネットを使う人がほとんどの社会になり、時代が変わってきたんだなと思いました。

ネットの誹りの中傷がよりひどくなられた方の話を聞いて、一刻も早くそのような事態が起こらないようなきまきりを作り、そういう世の中になってほしいと思います。

ネットに相手を傷つける内容を一度書いてしまつて、とても重い罪になるので、ネットに書くときはそれほど簡単に考え

てはいけないものだと思います。しっかりとルールを守って、安全に使えば、とても便利なものなので、しっかりルールを守って使おうと思います。

(高校2年生)

かていたいわ
家庭対話ウィーク

かぞく たいわ
家族で対話を

7月21日(水)〜27日(火)の一週間を家庭対話ウィークとしています。

かぞくかん
家族間のコミュニケーションを円滑に

- ありがとうとごめんなさいを言う
 - あいさつをする
 - 約束を守る
 - うそをつかない
 - 話をするときは相手の目を見る
 - 不満がある場合には、直接伝える
- ※家族だからこそ、特に大切にしたいことですね。



ひかくへいわてん
〈非核平和展〉

日時 8月1日(日)、2日(月)
4日(水)〜9日(月)
会場 相生市文化会館

内容 (1階エントランスホール)
非核平和ポスター、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネルの展示等



じんけん じつど
〈人権の集い〉

出演 鈴木 ひとみさん
講演 「パラリンピックが私にくれたもの」
スポーツを通して『人権』を考える

日時 8月4日(水) 8時開演
会場 相生市文化会館大ホール

じっせいはつひまかい じんけん
〈PTCA実践発表会・人権ふれ愛シネマ〉

作品名 「家族の日」
日時 12月5日(土) 3時開演
会場 相生市文化会館大ホール
※全て入場無料